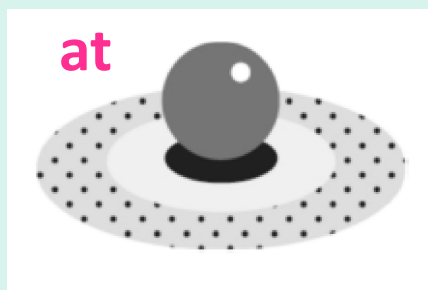


<前置詞> atの世界

CORE IMAGE



...のところに (場所)

He is at work.



at は、一般的に、「点」を表すと考えられています。in が比較的広い場所を示すのに対して、at は比較的狭い場所を示す、という言い方もよく耳にします。しかし、これは正確ではありません。at のコアは端的に「場所」を表し、日本語でいえば「...のところに」に近い前置詞です。

そこで、**She is standing at the window.** だと「彼女は窓のところに立っている」ということです。誰かとの待ち合わせで、**I'll wait for you at the hall.** だと「ホールのところで待っているよ」ということで、ホテルの玄関あたりが想定されます。一方、in the hall といえば、ホール内ということに限定されます。



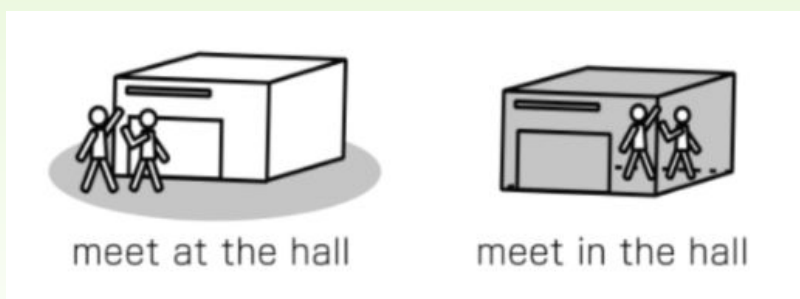
She is standing **at** the window.

彼女は窓のところに立っている



I'll wait for you **at** the hall.

ホールのところで待っているよ



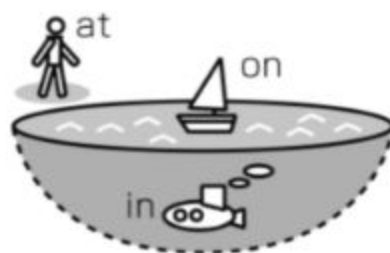
He hit at the target. (彼は標的を狙って打った)のような場合の at は焦点が絞られ「点」としての対象が意識されることもあります。漠然と場所を表す場合もあり、at は「ところ」を示す前置詞です。



He hit **at** the target.

彼は標的を狙って打った

「池」、the pond を例に in, on, at の違いを見てみましょう。There is a boat in the pond. / There is a boat on the pond. / **There is a man at the pond.** は、それぞれ意味合いが違います。a boat in the pond だと「池に沈んでいるボート」、a boat on the pond なら「池に浮かんでいるボート」、**a man at the pond** だと「池のところ、つまり、池のそばにいる男」を連想するでしょう。



There is a man **at** the pond.

池のそばに男がいる

ドアのところにいる男性を指して「ドアのところに男性を知っていますか」といいたければ **Do you know the man at the door?** となります。「角にいる女性は誰かを見ている」も **The woman at the corner is looking at someone.** といいます。



Do you know the man **at** the door?

ドアのところに男性を知っていますか



The woman **at** the corner is looking at someone.

角にいる女性は誰かを見ている

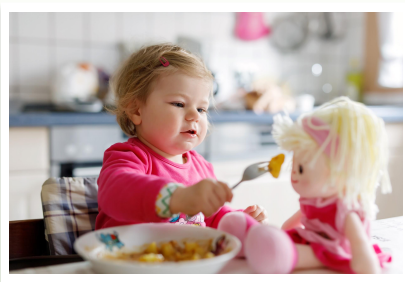
場所と目的

He is at work. といえば、「彼は仕事をしているところにいる」ということから「仕事をしている」という意味合いになります。**She is at the table.** だと「食卓についている」ということですね。table といえば「食事をするという目的」があります。**Students are at their desks.** だと「(授業のため)席についている」という感じですね。



He is **at** work.

彼は仕事をしている



She is **at** the table.

彼女は食卓についている



Students are **at** their desks.

生徒たちは(授業のため)席についている

At it again. という決まり文句があります。「精が出ますね、またやっていますね」という意味合いです。例えば、庭いじりをしている人に **At it again.** といえば「精が出ますね」といった感じですが、it が庭いじりなどの活動の場を表し、その活動の場にまたいますね (**at it again**) という感覚です。

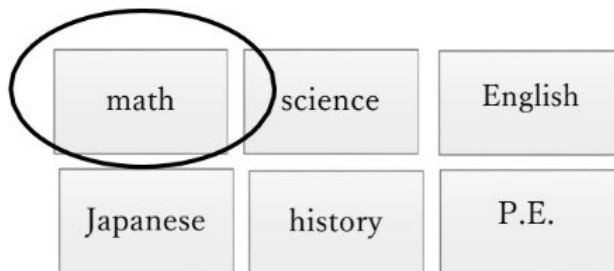


At it again.

精が出ますね、またやっていますね

応用

このように at は「場所(ところ)」だと理解しておく、**She is good at mathematics.** (彼女は数学が得意だ)も教科にはいろいろあるが、数学のところで She is good という判断をしている表現であることがわかります。



She is good **at** mathematics.

彼女は数学が得意だ

at が時間表現に使われると、**The meeting was held at 3 o'clock.** (会議は 3 時に開かれた)のように 24 時間でいえば 3 時のところ (3 時に)となります。そこで at は「時刻」を表す前置詞といわれますが、**I'll be going home at Christmastime.** だと「クリスマスの時期に帰郷するつもりだ」ということで、at は時刻に限定するわけではありません。



The meeting was held **at** 3 o'clock.

会議は3時に開かれた



I'll be going home **at** Christmastime.

クリスマスの時期に帰郷するつもりだ

「場(ところ)」は、時間だけでなく、**The flowers are at their best.** (花は最高の状態のところにある→今が一番の見ごろだ)のように「状態」だとか、**She maintained speed at 80 kilometers an hour.** (彼女は時速 80 キロで走った)のように「割合」などにも展開します。しかし、at は「ところ」ということで共通しています。**at their best** は「最高のところ」、**at 80 kilometers an hour** は「時速 80 キロのところ」と解釈することができます。



The flowers are **at** their best.

花は今が一番の見ごろだ



She maintained speed **at** 80 kilometers an hour.

彼女は時速 80 キロで走った

She ran away at the sight of the cat. (彼女はネコを見て、逃げ出した) も「猫を目撃したところで」というのが **at the sight of the cat** です。 **I was really surprised at the news.** (ぼくはニュースを聞いて本当に驚いた) の場合も、 **at the news** は「ニュースを聞いたところで(驚いた)」という意味合いです。



She ran away **at** the sight of the cat.

彼女はネコを見て、逃げ出した



I was really surprised **at** the news.

ぼくはニュースを聞いて本当に驚いた